



米子のナノ水力発電施設はこの  
実験施設から誕生しました

## 実践的な知の世界を求めて 2 信大工学部で実験講座を受講しました

信州大学工学部・須坂高校  
連携講座の第2回は、工学  
部の実験室にうかがっての  
実験講座です。信大の先生  
方や大学院生のみなさん  
にご指導いただきながら、大  
学での研究の一端を体験し  
ました。



人工ルビーづくりの材料を慎重に  
取り扱います。緊張の瞬間です

今回の実験講座は、人工ルビーの製  
作、ナノ水力発電の人工下線による実  
験、飛行船ロボットの操作実験の3講  
座です。先日米子のナノ水力発電施設見  
学に参加したメンバーが3つのグルー  
プに分かれて受講しました。

大学の研究施設で実験に関わるのは  
初めての経験、ということで、連携講  
座受講生の諸君は少々緊張気味では  
したが、当日はティーチング・アシスタント  
として大学院生や学部学生のみなさん  
が指導してくださったので途中からは  
緊張も解け、それぞれの講座で熱心に  
実験に取り組むことができました。

いつも学校で取り組んでいる机の上  
の勉強とは異なり、実際に自分の手を  
動かして操作をしたりものづくりに関  
わるのはとても新鮮で、刺激的な時間



飛行船ロボットをコンピュータか  
らの命令で動かしてみます

を過ごすことができ、予定の時間を少  
しオーバーしてしまうほどでした。

講座の終わりには、今回の実験講座  
を取りまとめてくださった情報工学科  
教授の伊東一典先生から、学校で学ん  
でいることとのつながりを考えてほし  
いとお言葉をいただきましたが、実  
践的な知の世界を体験した生徒諸君は  
とても充実した表情をしていました。

## 進路決定にむけての 須坂高校のとりくみ⑨



信州大学工学部との連携講座は今年度から始まった新しい取り組みということで、実験講座の講座数も限られたものとなっていますが、連携講座は来年度以降も継続して行うことになっていますので、来年度はさらに充実した内容にしていきます。須坂市は養蚕・製糸業が盛んであった頃から現在まで続く工業の街でもあります。地元で活躍してくれる優秀な人材の育成をめざして、信州大学工学部との連携をさらに深めていきたいと考えています。本校卒業生であり、カーボン・ナノ・チューブ研究の国内第一人者でもある遠藤守信先生に続く人材を輩出することができるよう、須坂高校はこれからも新しい試みに挑戦していきます。